

作成日 2025 年 12 月 9 日

研究に関するホームページ上の情報公開文書

研究課題名： うつ病患者における血中 BDNF pro-peptide 濃度の測定による
バイオマーカー探索 —健常対照群との比較による観察的・非ランダム化非盲検研究—

本研究は藤田医科大学の医学研究倫理審査委員会で審査され、学長の許可を得て実施しています。

1. 研究の対象

藤田医科大学病院に通院したうつ病患者で、藤田医科大学病院精神科を介しバイオリソース室に血液検体（2019年2月25日から2020年1月20日までに採血された検体）を提供した患者及び、バイオリソース室の職員検診バンキングへ検体（2022年7月1日から2025年9月30日までに採血された検体）を提供した健常者

2. 研究目的・方法・研究期間

目的：うつ病の客観的かつ生物学的な診断指標（バイオマーカー）の確立は強く求められています。脳由来神経栄養因子（BDNF）の前駆体から産生される BDNF pro-peptide（Bpp）は、近年、神経伝達を抑制する生理活性を有することが報告されていますが、Bpp はうつ病モデル動物の脳内で有意に変動することが確認されています。これらの知見から、Bpp はうつ病の病態に関連する可能性が高く、その血中濃度は疾患のバイオマーカーとして有用である可能性があります。本研究では、うつ病患者および健常者の血液中 Bpp 濃度を測定し、うつ病の診断補助バイオマーカーとしての有用性を検討します。

方法：うつ病患者および健常対照群の血清中 Bpp 濃度を生化学的手法により測定し、統計解析により相関の有無を検討します。うつ病患者群における、各種指標（年齢、性別等）と血清中 Bpp 濃度について相関の有無やその程度について同様に検討します。

研究期間：2028年3月31日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究では藤田医科大学バイオリソース室から提供される血液検体で、血清を使用します（1検体あたり200μL）。試料は匿名化されており特定の個人を識別することは不可能で、また特定個人の識別に必要な情報の保持は行いません。被験者背景情報（年齢、性別等）を用います。

4. 外部への試料・情報の提供

金沢工業大学に匿名化された血液検体（1検体あたり200μL）および関連情報（年齢、性別等）を提供します。これらの試料・情報は、金沢工業大学において血清中 Bpp 濃度の測定実験に用いられます。

5. 研究組織

1 藤田医科大学

研究責任者 研究推進本部 URA 室 室長・特任教授 小清水 久嗣

研究協力者 研究推進本部 URA 室 研究技術員 中村 光

2 金沢工業大学

研究責任者 バイオ・化学部 生命・応用バイオ学科 教授 小島 正己

研究分担者 大学院 バイオ・化学部 応用バイオ学科 大学院生（修士課程） 末吉 真菜

研究分担者 バイオ・化学部 生命・応用バイオ学科 学部生 瀧澤 舞琴

6. 研究責任者

藤田医科大学 研究推進本部 URA 室 室長・特任教授 小清水 久嗣

7. お問い合わせ先

本研究は、藤田医科大学バイオリソース室から提供される匿名化済みの試料を用いて実施されるため、研究対象から特定の個人の除外を行うことはできません。本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

照会先：

藤田医科大学 研究推進本部 URA 室

中村 光

愛知県豊明市田楽ヶ窪 1-98

電話 0562-93-9640（平日 9:30-16:00）

○ 利益相反について

この研究に関わる研究者等に開示すべき利益相反はありません。